



鹿児島県

志布志港

PORT OF SHIBUSHI



志布志港～南九州最大の国際物流拠点～

志布志港とは

志布志港は、九州南東部の太平洋に面した地理的優位性と国内有数の農畜産地域である南九州地域を背後に有しており、南九州地域における国内外の物流拠点、飼料供給基地として背後地域の産業を支えています。

志布志港には、4航路週8便の外貿定期コンテナ航路と4航路週16便の内貿定期フェリー・RORO航路が就航しています。令和6年のコンテナ貨物取扱量は九州では博多港、北九州港に次ぐ第3位であり、近年は10万TEU前後で推移しています。また、木材輸出は15年連続日本一に輝いています。

2011(H23)年に九州で唯一の国際バルク戦略港湾に選定され、2017(H29)年から船舶の大型化に対応する新たな岸壁等の整備を進めています。

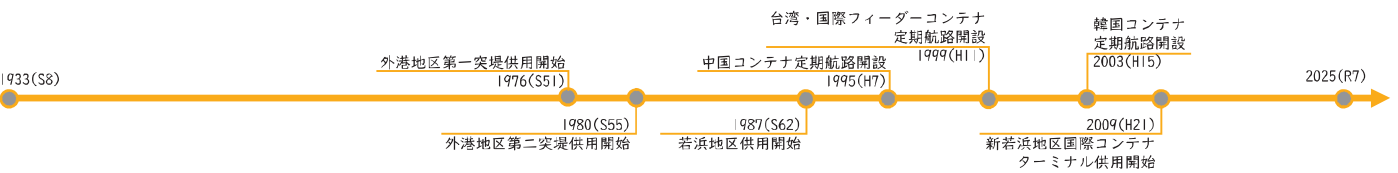
港湾の特徴

北から本港地区、外港地区、若浜地区、新若浜地区の4地区から構成される南北約6kmにおよぶ重要港湾です。

本港地区は、主に漁船などの小型船だまりとして利用されています。外港地区は、東京や阪神、沖縄などを結ぶ内航RORO船や原木輸出に利用されています。若浜地区は、飼料供給基地として配合飼料工場が集積し、飼料穀物の輸入や飼料の生産・供給が行われています。また大阪南港とを結ぶフェリーさんふらわあも利用しています。新若浜地区は、中国、台湾、韓国などを結ぶ定期コンテナ航路が就航しています。

History

- | | | |
|-------------|-----|----------------------|
| 1969年 (S44) | 4月 | 重要港湾の指定 |
| 1976年 (S51) | 12月 | 外港地区第一突堤供用開始 |
| 1980年 (S55) | 7月 | 外港地区第二突堤供用開始 |
| 1987年 (S62) | 4月 | 開港指定 |
| | 4月 | 植物検疫港の指定 |
| | 12月 | 若浜地区供用開始 |
| 1988年 (S63) | 1月 | 無線検疫港の指定 |
| | 4月 | 出入国港の指定 |
| 1989年 (H元) | 10月 | 検疫港の指定 |
| 1995年 (H7) | 4月 | 中国コンテナ定期航路開設 |
| 1997年 (H9) | 4月 | 動物検疫港の指定 |
| | 7月 | 指定保税地域の指定 |
| 1999年 (H11) | 11月 | 台湾コンテナ定期航路開設 |
| | 11月 | 国際フィーダーコンテナ定期航路開設 |
| 2003年 (H15) | 6月 | 韓国コンテナ定期航路開設 |
| 2004年 (H16) | 3月 | 若浜地区旅客船ふ頭完成 |
| 2009年 (H21) | 3月 | 新若浜地区国際コンテナターミナル供用開始 |
| 2011年 (H23) | 5月 | 国際バルク戦略港湾（穀物）選定 |
| 2018年 (H30) | 12月 | コンテナ取扱量10万TEU突破 |
| 2022年 (R4) | 1月 | 新若浜地区国際コンテナターミナル岸壁延伸 |
| 2023年 (R5) | 5月 | 農林水産物・食品輸出促進計画の認定 |



志布志とつながる高規格道路

志布志港は、志布志ICから高規格道路等を利用し、鹿児島県、宮崎県、熊本県各地へアクセスできる良好な環境にあります。

志布志港の背後では、志布志港と宮崎県都城ICをつなぐ都城志布志道路が全線開通し、東九州自動車道（志布志IC～日南東郷IC）の整備が進められております。これらの道路の整備により、輸送時間の短縮や物流の効率化、地域経済の活性化等が期待されています。

高規格道路網図



主要都市までの所要時間（IC間）

起点IC	終点IC	都市名	目安時間
志布志IC	都城IC	都城市	35分
	宮崎IC	宮崎市	1時間
	鹿児島IC	鹿児島市	1時間30分
	薩摩川内都IC	薩摩川内市	2時間
	八代IC	八代市	2時間
	大迫IC	指宿市	2時間30分

高規格道路の整備により、輸送時間の短縮、物流の効率化！

志布志港施設配置図・概要

志布志港は、鹿児島県東部の志布志湾に位置し、国内有数の畜産地帯である南九州地域を背後に有する重要港湾です。
本港地区、外港地区、若浜地区、新若浜地区の4地区で構成されています。
Shibushi Port is located in Shibushi Bay in the eastern part of Kagoshima Prefecture, backed with the nation's one of the largest livestock regions. The Shibushi Port is constituted by four districts, the Honkou District, Gaiko District, Wakahama District, and the Shin-Wakahama District



番号	係留施設(岸壁)					バース
	名称	水深(m)	延長(m)	対象船舶(D/W)		
①	岸壁	-5.0	135	1,000		2
②	岸壁	-5.5	100	2,000		1
③	A岸壁	-5.5	270	2,000		3
④	B岸壁	-7.5	130	5,000		1
⑤	C岸壁	-10.0	185	15,000		1
⑥	D岸壁	-7.5	260	5,000		2
⑦	E岸壁	-8.5	200	14,000		1
⑧	旅客船ふ頭(耐震)	-7.5	220	15,000G/T		1
⑨	若浜岸壁	-4.5	120	450		2
⑩	中央ふ頭5号岸壁	-5.5	180	2,000		2
⑪	中央ふ頭4号岸壁	-7.5	315	5,000		2
⑫	中央ふ頭3号岸壁	-8.0	75	5,000		1
⑬	中央ふ頭2号岸壁	-9.0	165	10,000		1
⑭	中央ふ頭1号岸壁	-12.0	240	30,000		1
⑮	市心頭1号岸壁	-7.5	130	5,000		1
⑯	市心頭2号岸壁	-5.5	90	2,000		1
⑰	1号岸壁	-14.0	350	50,000		1

原木の輸出量日本一
Largest export of logs in Japan.
主に中国向けの原木輸出を行っています。
Mainly exported to China.



外港地区（第二突堤）

フェリー・RORO船も寄港
Ferry/RORO ship calls at port
国内向け貨物・旅客輸送も充実しております。
Domestic cargo and passenger transportation service also well-established.



若浜地区

配合飼料工場が多数立地
Many compound feed factories are in operation.
飼料原料（穀物）を輸入し配合飼料工場で製造や供給を行っています。
The imported feed materials are supplied to the compound feed factories for processing.



若浜地区

国際コンテナターミナル
International Container Terminal
ガントリークレーン2基設置しています。
リーファーコンテナ50口設置しています。
2 gantry cranes, and 50 reefer outlets are installed to accommodate high volume logistics.



新若浜地区